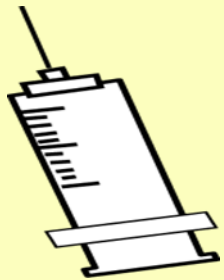
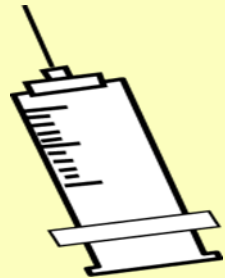


C型肝炎に対する インターフェロン治療の 副作用と注意点

最近のインターフェロン治療



インターフェロン
週1回注射



インターフェロン
週1回注射



リバビリン



朝夕食後

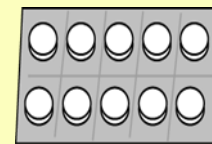
24~72週間



インターフェロン
週1回注射



テラプレビル



8時間毎

24週間

新薬

副作用について

治療**初期**に出ることが多い副作用

治療**中期以降**に出ることが多い副作用

治療期間中に出ることが多い副作用

治療初期に出てくる 副作用



発熱・頭痛・関節痛・寒気（インフルエンザ様症状）

解熱鎮痛薬：内服薬・坐薬



皮膚のかゆみ・発疹

抗アレルギー薬：内服薬・塗り薬



食欲不振・吐き気

食事の工夫・水分補給・**内服薬**

治療中期で出てくる 副作用



網膜症
眼の違和感



精神症状
不眠・イライラ感・うつ症状



間質性肺炎
咳や微熱が続く

脱毛

甲状腺機能異常: むくみ・動悸・汗を異常にかく

糖尿病・心臓病の悪化

気になる症状があれば我慢せずに
主治医に報告をしましょう！！



治療中に出てくる副作用

血球成分の減少

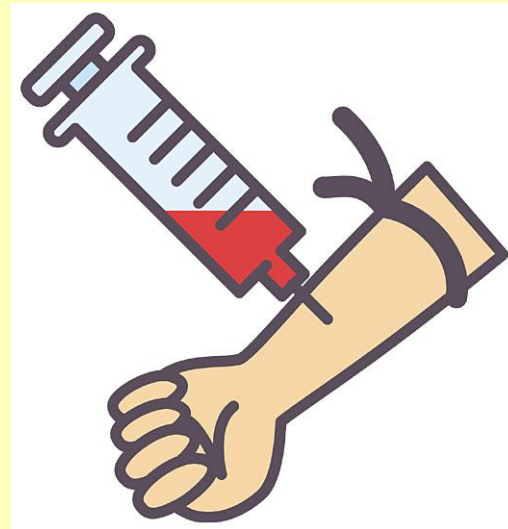
ヘモグロビン：貧血・めまい・立ちくらみ

白血球・好中球：

免疫力の低下（風邪をひきやすい・化膿しやすい）
感染予防（うがい・手洗い・マスクなど）に気をつけて

血小板減少：

出血が止まりにくい（鼻血・歯茎からの出血しやすい）
・歯磨き・ひげそりなどは出血に気をつけて



インターフェロンの 注意点

①インターフェロン治療中は**小柴胡湯**は服用しない
理由：副作用症状が強くなる恐れがあるため
ほかの漢方を服用する場合も念のため
主治医に確認をしてください。

②インターフェロン治療の中でも、
リバビリンを服用している方は、**避妊**をしましょう。
リバビリンには催奇形性を起こす副作用があり。
内服中・内服終了後しばらくの間は
パートナーの方とともに避妊をしましょう。

新薬（テラビック） ののみ方



① **8時間ごとに内服**

（入院中は8時・15時・22時）

② **食後**に内服

（入院中は朝食後、15時・22時 に軽食を摂ってから内服）

入院して治療を開始し、

③ 治療期間中（24週間）のうち**導入から12週間**内服

新薬（テラビック）で 出てきやすい副作用症状

①皮疹

皮膚の発疹・赤み・かゆみ、

口腔内・目の粘膜ただれ

まれに重症化する恐れがあり



早期発見（背中など見えにくいところもチェック
しましょう）

皮膚科受診（当院皮膚科医がサポート）

塗り薬・飲み薬・点滴で症状を軽減・緩和

新薬（テラビック）で 出てきやすい副作用症状

② 腎機能障害(クレアチニン悪化・尿酸値上昇)



定期的な血液検査

水分の点滴で体内の血流循環をUP

尿酸値を下げる飲み薬の服用

③ 貧血(ヘモグロビンの減少)



定期的な血液検査

治療薬の減量・休薬

新薬（テラビック）と のみ合わせの悪いお薬

小柴胡湯

コレステロールを下げる薬：リピトール、リポバスなど

寝つきを良くする薬：ハルシオン

不整脈治療薬：アンカロン、タンボコールなど

片頭痛治療薬：クリアミン、ジヒデルゴットなど

痛風治療薬：コルヒチン

結核治療薬：リファジン

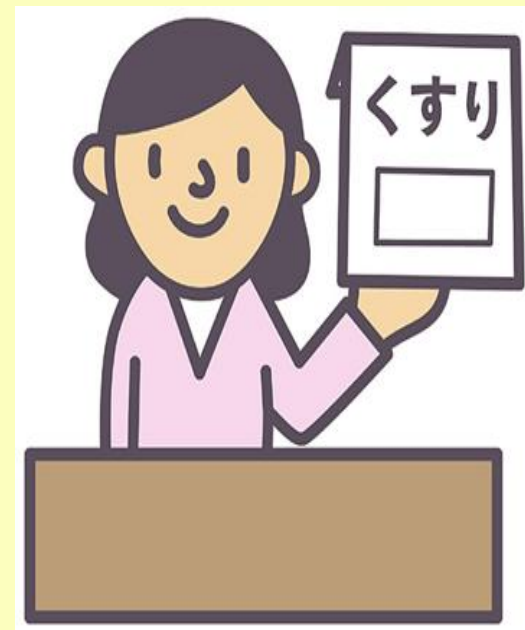
などなど・・・

新薬（テラビック）と のみ合わせの悪いお薬

かかりつけ薬局を見つけ薬剤師による
のみ合わせのチェックしてもらいましょう

お薬手帳を携帯、他院受診時は
お薬手帳を提示しましょう

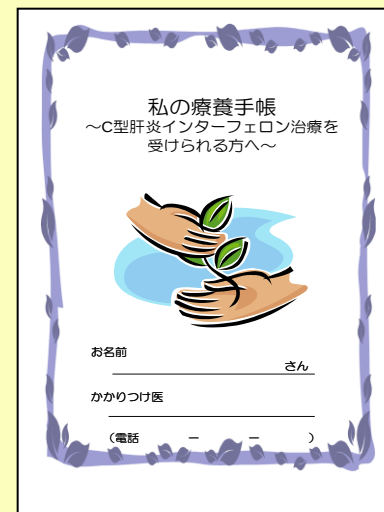
健康食品・市販薬も内服前に主治医に
内服可能か確認しましょう！



まとめ

副作用は患者さん個人によって、
出てくる症状・症状の重さが異なります。
出てきた症状は必ず主治医に報告しましょう。

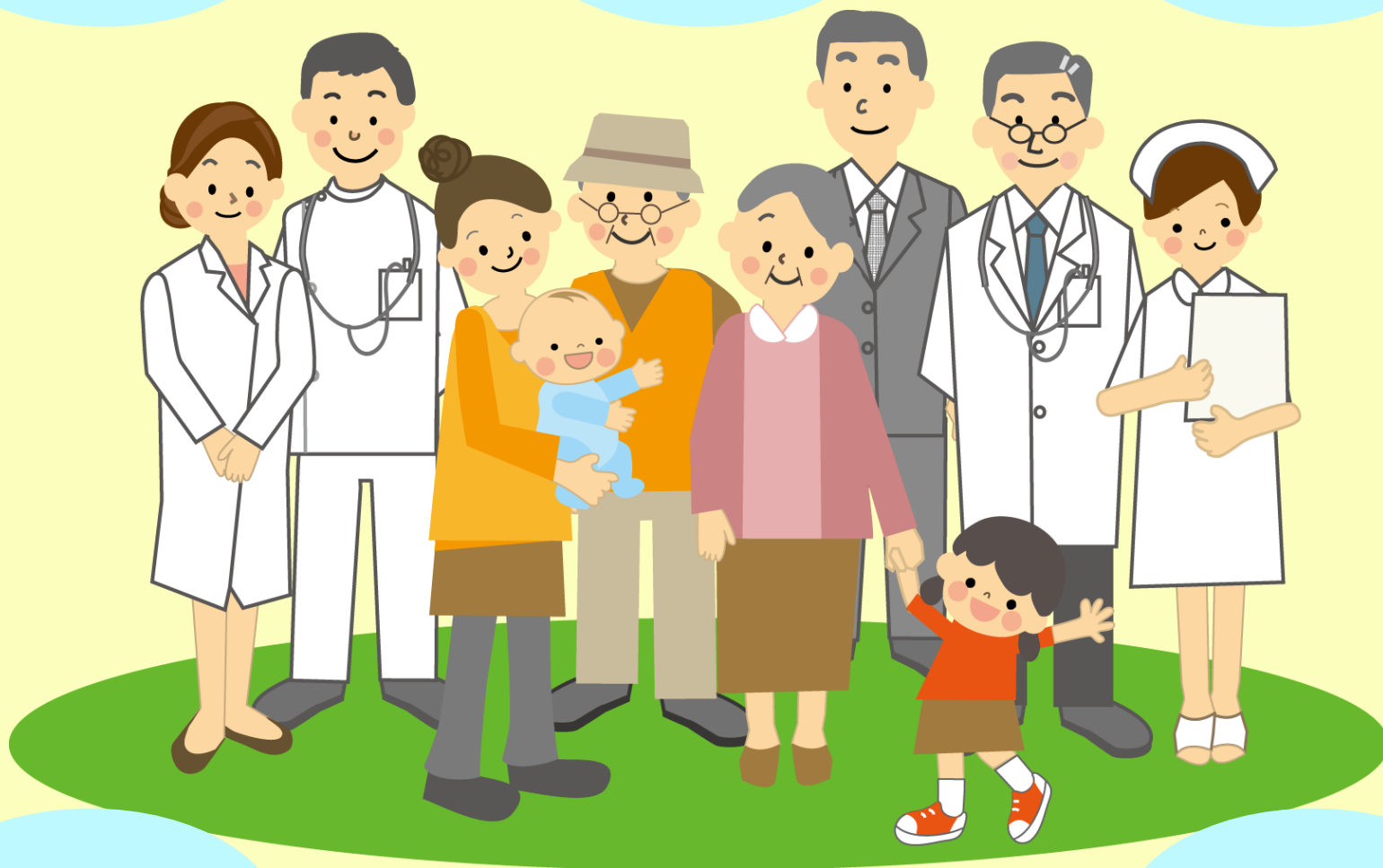
インターフェロン手帳・テラビック手帳を
使って、体調の管理を記録し、
普段の生活と治療を
快適に送れるようにしましょう。



診察

お薬

生活



運動

食事